

別紙 1 (様式第 1 号・様式第 5 号添付用)

提案型協働事業計画書 (活動支援交付金)

団 体 名	武豊町防災ボランティアの会 : 提案型協働事業代表:鈴木重久		
	設立年月日	平成 16 年	団体の構成人数 81 名
1 事業の名称及び実施期間	名称: 武豊町水害ハザードマップに基づく避難行動に関する検討 期間: 令和3年4月1日から令和4年3月31日		
2 該当する第6次総合計画の9つのまちづくりの目標	災害に強く、安全・安心に暮らせるまち		
3 解決へ向けて取り組む地域課題	平時より地域の災害リスクを認識してもらい、災害時にとるべき行動について理解してもらうことが重要ですが、その認識を得るための活動が不足している。		
4 協働対象部署	防災交通課・町内自主防災会		
5 事業の内容等 (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他	(1) 内容: 水害及び土砂災害のリスクのある地区からの避難について検討・検証等を実施し、地区防災計画の策定に寄与する。 方法: 防災マップと避難行動ワークシートにより災害を認識する。 (2) 実施場所: 内水 (雨水出水)・洪水浸水予想地区及び土砂災害警戒区域等にかかる区 (3) 対象地区 : 町内全域 (4) 事業PR: 自主防災会連絡会において各区長、各区防災リーダーに取組み方法などを説明して、理解と協力を仰ぐ。 (5) その他		
6 事業実施により期待される効果	水害・土砂災害において「自らの命は自らが守る」意識を住民に醸成することで、近年起こりうる大規模な災害を想定し、あらかじめ避難行動の検討を行うことで、被害を最小限に抑えられる。また、地区防災計画の策定に寄与することもできる。		
7 事業の特徴	避難先の設定だけでなく、町の危険カ所の顕在化及び避難経路の検証をすることにより、地区や世帯ごとの避難行動の安全性・実効性を高めることが出来る。		
8 今後の事業ビジョン	各区でDIG等の図上訓練を実施した際には、避難経路等を地区毎の防災マップにして配布したい。		
9 他の交付金等	なし		
10 その他	本会は、提案型協働事業に取組み10年になります。現在も学校関係は継続しており、防災交通課との取組みはステップアップしている。今後も行政と連携を図りマンパワー不足を補えるよう努めます。		

添付書面②-2枚 参考資料2枚 参考:インターネット:避難の理解力向上キャンペーン (通知)